

一般社団法人日本光学会第1期総会議事録

日 時：2015年10月30日(金) 12:00~12:30

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎1階134会議室

参加者：黒田会長，ほか40名

1. 会員数

- ・現在の会員数（一般会員719名，学生会員100名，特別会員73法人，賛助会員34法人）について報告された。

2. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ，承認された。

2-1. 第1期（2014.9.2~2015.8.31）事業報告

2-1-1. 出版報告

- ・会誌「光学」と論文誌「Optical Review」の出版に関する現状について報告された。

2-1-2. 講演会・講習会・国際会議

- ・2014年度に行われた講演会・講習会・国際会議（第1回技術者と学生のための光学セミナー，一般社団法人日本光学会設立記念シンポジウム，第41回冬期講習会，第2回光学セミナー（冬期講習会/関西サテライト講演），Optical Manipulation Conference 2015, 5th Asian and Pacific-Rim Symposium on Biophotonics, 第40回光学シンポジウムなど）について報告された。
- ・2015年度に行われる講演会・講習会・国際会議（日本光学会年次学術講演会，千葉市科学館・日本光学会連携実験教室，第42回冬期講習会，10th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication, 第41回光学シンポジウムなど）について報告された。

2-1-3. 研究グループ

- ・13の研究グループが紹介された。
- ・各研究グループの会員数，活動費の配賦（各5万円）および活動状況（2015年1月~8月）について報告された。

2-1-4. 支部活動

- ・北海道支部，東北支部，信越支部，北陸支部，中部支部，関西支部，中国・四国・九州支部の支部活動について報告された。

2-1-5. その他

- ・7つの国際交流協定（MOU）締結先と1つの連携協定締結先について報告された。

2-2. 国際光年記念事業関連報告

- ・国際光年協議会への参加が報告された。
- ・板橋区，千葉市それぞれと共催する子どものための光学実験教室事業について報告された。

2-3. 決算報告

- ・2014年9月2日~2015年8月31日までの正味財産増減計算書について報告された。

2-4. 監査報告

- ・事業報告および計算関係書類について監査した結果，適正であるとの報告がされた。

3. 第2号議案

- ・役員改選について4人の新任理事，10人の留任理事，1人の留任監事が紹介され，承認された。

4. 第2期事業計画

4-1. 出版について

- ・会誌「光学」は43巻以前のすべてのバックナンバーがWeb上にて完全公開になることが報告された。
- ・英文論文誌「Optical Review」はすべてのバックナンバーが会員限定で閲覧可能になることが報告された。

4-2. 表彰について

4-2-1. 光学論文賞

- ・2014年9月~2015年12月に発行された学術刊行物の原著論文の第1著者に与えることが確認された。2016年2月までに募集要項を公表する予定になっている。

4-2-2. 光学奨励賞

- ・2014年4月~2015年12月に発行された「光学」「Optical Review」の原著論文の第1著者に与えることが確認された。

4-2-3. OPJ 優秀講演賞

- ・2015年10月28日~30日に開催されるOPJ 2015での発表から優秀講演賞を選ぶことが確認された。

4-2-4. コニカミノルタ光みらい奨励金

- ・2015年度の応募は締切済みで，選考中であることが報告された。

4-3. 講演会・講習会・国際会議等について

- ・2015年9月から主催6件，共催7件，協賛28件，後援2件のイベントを予定している。特に，OSA 100周年記念ジョイントシンポジウムの開催予定，従来の日韓ジョイントシンポジウムに台湾が参加すること，SPIEとのジョイントシンポジウムの開催，2017年にICO総会が東京で開催されるにあたり日本

光学会も積極的な協力を行うこと等について報告がなされた。OPJ 2016 も OPJ 2015 と同じ筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催の予定と報告された。

4-4. 支部活動計画について

- ・7つの支部の活動計画が報告された。

4-5. 第2期予算計画について

- ・2015年9月1日～2016年8月31日の収入・支出計画について報告された。
- ・2016年の会員種別および年会費が提示された。
正会員：一般会員（年会費 9,600 円）、シニア会員（年会費 4,800 円）
学生会員：年会費 2,000 円
法人会員：特別会員（年会費 15,000 円）、賛助会員（年会費 1 口あたり 40,000 円）

5. 質疑応答

- ・会員数を増やすための活動や、ポストドクターの正会員としての年会費の値下げなどについて検討することになった。
- ・シニア会員の資格認定について確認があり、要件を満たす会員からの自己申告により判断されることが説明された。
- ・支部委員の任期などについて確認があり、改選時は推薦を受けた方について理事会で議論の上決定することが説明された。任期は各年4月1日から翌年3月31日まで。
- ・支部限定メーリングリストについて要望があり、事務局にて準備することとした。

第18回レーザーディスプレイ技術研究会「可視光レーザーの覚醒！4Kプロジェクター・ヘッドランプ新展開」

日時：2016年2月3日(水) 13:00～17:00

場所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール（〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1）京王井の頭線駒場東大前駅より徒歩10分、小田急線東北沢駅より徒歩10分、小田急線・千代田線代々木上原駅より徒歩15分。地図 <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>

主催：日本光学会レーザーディスプレイ技術研究グループ

協賛：レーザー学会レーザー照明・ディスプレイ（LLD）専門委員会、IDW-PRJ-WS、可視光半導体レーザー応用コンソーシアム

後援：オプトロニクス社

研究会プログラム：①「イントロダクトリートーク」黒田和男（宇都宮大）、②「高速ディスプレイと高速画像処理で創る新しいインタラクティブディスプレイの世界」石川正俊（東京大）、③「4K超短焦点プロジェクター高輝度固体光源開発（仮）」前田佑樹（ソニー）、④「レーザー光源4Kプロジェクターの技術紹介」江川明（セイコーエプソン）、⑤「ISAL2015：車載照明動向の紹介—車載照明におけるレーザー活用と今後の展望」岩本滋人（本田技術研究所）、⑥「レーザーヘッドランプの客観的及び主観的評価」内田光裕（スタンレー電気）、⑦「単結晶YAG/LuAG蛍光体の超高輝度光源への応用」猪股大介（タムラ製作所）、⑧「クロージングリマーク」山本和久（大阪大）。プログラムは研究グループのホームページでもご覧になります。 <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/ldt/>

参加費：一般5,000円、学生1,000円（税込）。当日会場にてお支払いください。領収書を発行いたします。終了後簡単な情報交換会を予定しております（無料）。

参加申込：要。参加希望者はE-mailにて下記連絡先までお申し込みください。

連絡先：大阪大学 山本和久

E-mail yamamoto-k@ppc.osaka-u.ac.jp

研究会案内「生きている固体と液体の界面—走査型プローブ顕微鏡で探る—」

本研究会では、最先端の走査型プローブ顕微鏡法技術による固液界面計測の現状や今後の展望について、各分野でご活躍されている方々にご講演いただきます。関連研究者・技術者の方をはじめ、多くの方々の参加をお待ちしています。

日時：2016年1月21日(木) 13:00～17:30

場所：〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール 地図 <http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokkodai-dai2.html>

主催：日本表面科学会関西支部、表面技術協会関西支部、神戸大学研究基盤センター

協賛：日本光学会、ほか

プログラム：①〔基調講演〕「高分解能・高機能原子間力顕微鏡開発の歴史—固液界面の解明を目指して—」森田清三（大阪大）、②「高分解能走査型プローブ顕微鏡（HR-SPM）の開発と固液界面計測への応用」粉川良平（島津製作所）、③「高速原子間力顕微鏡で探る生体分子の機能ダイナミクス」内橋貴之（金沢大）、

④「走査型プローブ顕微鏡を用いたナノマニピュレーションと液中環境でのバイオへの応用」岩田太（静岡大）

参加費： 無料

国際会議 XOPT'16 (International Conference on X-ray Optics, Detectors, Sources, and Their Application 2016)

開催日： 2016年5月18日(水)～20日(金)

場 所： パシフィコ横浜

主 催： 理化学研究所放射光科学総合研究センター，大阪大学大学院工学研究科附属超精密科学研究センター

協 賛： 日本光学会，ほか

講演申込締切： 2016年1月25日(月)

参加登録締切： 2016年4月15日(金)．参加登録はOPICウェブサイトから行ってください．

XOPT'16 ウェブサイト <http://xopt.opicon.jp/>

OPIC'16 ウェブサイト <http://opicon.jp/>

問合せ先： E-mail xopt-conference@opicon.jp

日本光学会 news の掲載申込先：

〒192-8512 東京都八王子市久保山町2-3 オリンパス(株)技術開発部門光学システム開発本部
天内隆裕 電話 042-691-7194 Fax 042-691-7573 E-mail t_amanai@ot.olympus.co.jp

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「応用物理」第85巻第1号(2016年1月号) 予定目次

解 説

逆フェラデー効果を用いた超高速スピン制御 ……佐藤琢哉
高い耐放射線特性をもつ冷陰極真空管型撮像素子 ……三村秀典
原子分解能ホログラフィによる物質中活性サイト周りの

3D原子配列イメージング ……大門 寛

最近の展望

ハイバリアフィルムのバリア性評価 ……鈴木 晃
自動車の低燃費化・低排出ガス化のための湿度計測
……………星加浩昭

研究紹介

等方性3次元メタマテリアルとその加工法 ……田中拓男
超高耐圧半導体真空スイッチ ……竹内大輔

基礎講座

真空技術のコツ ……市村正也

ホッとひといき

物理チャレンジ教育活動と国際物理オリンピックへの
日本参加 ……毛塚博史

応物系スタートアップ

オールジャパンの新規不整脈治療器開発に架ける夢
……………荒井恒憲，小川恵美悠

研究会だより

微小光学研究会の「発足」について ……中島啓幾

連 載

科学を詠む⑬ 耳を澄ませば ……松村由利子

書 評

白木靖寛：シリコン半導体 ……藤原 聡

Science As Art

銀の惑星 ……増井恭子，牛場翔太

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2015年7月27日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アドバンテスト研究所
(株)アルゴ
ウシオ電機(株)
オプトシリウス(株)
(株)オプトロニクス
オリンパス(株)
キヤノン(株)
(株)清原光学
(株)光学技研
興和(株)
(株)五藤光学研究所
コニカミノルタ(株)
(株)シグマ
(株)昭和オプトロニクス
ソーラボジヤパン(株)
(株)タムロン
中央精機(株)
テルモ(株) 技術センター

(株)東芝
(株)トプコン
(株)ナック イメージテクノロジー
(株)ニコン
(株)ニデック
日本板硝子(株)
 (一社) 日本オプトメカトロニクス協会
富士フイルム(株)
古野電気(株)
マミヤ・デジタル・イメージング(株)
(株)溝尻光学工業所
三菱レイヨン(株)
ユニオプト(株)
(株)リコー
ルーメスソフト(株)

以上 33社 49口 (五十音順)